

長崎市
国立大学法人 長崎大学
西日本電信電話株式会社

「観光活性化等におけるICT利活用」に関する包括連携協定の締結について

長崎市(市長:田上 富久)、国立大学法人 長崎大学(学長:片峰 茂、以下長崎大学)、西日本電信電話株式会社(代表取締役社長:村尾 和俊、以下NTT 西日本)は、2016年1月29日に観光庁の観光立国ショーケースに選定され、国内外の観光客の一層の増加が見込まれる長崎において「観光×ICT」の具現化を図ることを手始めに、様々な分野での連携強化を目的として、本日、包括連携協定を締結しました。

1. 背景

長崎市は、2015年7月に「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録されたことに加え、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の登録をめざす中、「長崎市観光振興計画2020」を策定し、さらなる観光需要の掘り起こしに向けたビッグデータ活用の検討を進めています。

長崎大学は、観光分野におけるLOD(Linked Open Data)[※]を活用した観光アプリの実現等、長崎の観光客へのおもてなしを実現する研究に取り組んでいます。

NTT西日本は、観光客の利便性向上などに向け、自治体様などと連携し、西日本エリア各地において公衆無線LAN(フリーWi-Fi)やデジタルサイネージの構築、ビッグデータ解析による観光客の行動実態の把握等を手掛けています。

今後の発展を図る長崎において、行政・大学・企業の三者が、長崎市における観光振興の拡大をはじめとした、更なる地域の活性化向け、これまでの各自の知見を活かすとともに、ICTを利活用する取り組みに合意し、今回の包括連携協定締結にいたしました。

※LOD: ウェブ上でコンピュータ処理に適したデータを公開・共有するための技術の総称

2. 取り組み概要

- ・ 情報発信強化による国内外の観光客の集客拡大
- ・ 観光客の利便性向上に向けたWi-Fi環境整備
(軍艦島でのFWA[※]によるWi-Fi提供トライアル、店舗等へのWi-Fi環境整備促進等)
※FWA: 無線による加入者系データ通信サービスの方式の一つ
- ・ ビッグデータ活用による観光実態の把握 等
- ・ 高齢者向けSNS仲介ロボットの研究開発
- ・ バリアフリーストリートビューの開発 等

これらの取り組みに際し、実施方法やその他の詳細は、三者で協議の上、進めてまいります。

3. 今後の展開について

上記事項のみならず、様々な分野において、三者で力を合せ、地域のさらなる活性化に向け、ICTを活用した取り組みを推進していきます。

【別紙】包括連携協定の取り組みイメージ

- ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。
最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

包括連携協定の取り組みイメージ

